

住友化学 i - 農力だより

<http://www.i-nouryoku.com/index.html>

第136号 平成28年4月28日
発行 住友化学(株) アグロ事業部
お客様相談室 0570-058-669
編集者 太田有香
発行責任者 竹迫昭弥

目次

就任挨拶	p. 1
農家さん訪問記 (120)【石川・中島菜】	p. 2
新肥料紹介【楽一28N】	p. 7
第3回農業普及活動高度化全国研究大会資料 【福岡県・アスパラガス】	p. 9
今月のご相談から【ゼータタイガー1キロ粒剤/スポ ルタックスターナSE/楽一28N/ダントツ水溶剤】	p. 15
農薬登録情報	p. 16
5月のおすすめ製品	p. 17
★新★オリーブづくり奮戦記①	p. 18
★新★簡単♪おいしい♪旬レシピ	p. 20
【お知らせ】相談室お休み 他	p. 21
バーチャルトライアスロンの旅 vol.31	p. 22
編集後記	p. 23



アセビとシジュウカラ
富樫 信樹 画

就任挨拶

アグロ事業部マーケティング部

パブリックリレーション統括 玉置 昌宏

4月1日付でパブリックリレーション統括に就任いたしました玉置昌宏と申します。「平成28年熊本地震」によりお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

さて、日頃、i-農力だよりをご愛読いただき誠にありがとうございます。

私事ではございますが、5年ぶりにアグロ事業部に戻ってまいりました。以前は殺菌剤の開発業務やi-農力サイトの立上げ、住化ファームの立上げ等の業務に携わっておりました。また、アグロ事業部を離れていた間も、二つの農場の立上げや野菜の加工工場の立上げ等、農業現場に近いところで仕事をしてきました。

四つの農場を立ち上げ、天候に左右される野菜生産の難しさや、昨今の労働力確保の難しさ、更には食品加工である野菜カットの難しさや厳しさも経験させて頂きました。そうした中で現場の皆様のお声やご要望に接する機会も多く、その経験を活かして、今後は皆様のお役に立つ情報をタイムリーに積極的に発信していけるよう、パブリックリレーションチームの皆様と共に努力してゆく所存です。

最後に趣味の披露を少しだけさせていただきますと、土曜日はテニススクールに通い、日曜日は天気が良ければロードレーサー（自転車）で汗を流しています。そして汗をかいた後は大好物のビールで水分補給(?)をしつつ、次の仕事への英気を養っています。

今後とも、i-農力だより共々、皆様どうぞよろしくお願いたします。



[目次へ戻る](#)

農家さん訪問記(120)**＝能登の伝統野菜、厳冬に耐える中島菜＝**

今回は能登半島にある石川県・七尾市で能登の伝統野菜「中島菜」を栽培されている多賀重雄さん(79歳)を訪問しました。能登半島の東側は富山湾が鋭く切れ込み、真ん中に能登島を囲む3つの湾(七尾北湾、七尾西湾、七尾南湾)があります。七尾市はこの湾に面しており、冬は厳しい気候ですが、春から夏、夏から秋は複雑な地形と美しい海が織りなす景色がみられ、実に風光明媚な場所です。

天気予報では、訪問日は寒気が厳しく、暴風雪となる見込みで、訪問日の前日は確かに天気予報通りでした。しかし、訪問日は寒気が厳しいものの、風雪は収まり、晴れ間も見えました。前夜宿泊した金沢を出発し、前日の余波で大波に洗われる千里浜なぎさドライブウェイ(砂浜を車で疾走できません)を左手に見ながら能登半島の西側を北上し、羽咋川(はくいがわ)を越えたところでハンドルを右方向に取り七尾市中島町中島(旧中島町)に至りました。ここで、「JA能登わかば」の山本さんにお会いし、多賀さんの畑に案内され、ハウスに付設されている作業場でお話を伺いました。

(訪問日3月1日)



多賀 重雄さん

若いころからの夢

多賀さんは昭和10年生まれ、お父さんは農業とは縁がなく、お母さんが若干の農地を耕して、家庭菜園的に農業を行い色々な野菜を栽培していました。当時から中島町中島では、「中島菜」が栽培され、冬に新鮮で青々とした葉を食べることのできる「つけな類」として大切にされていました。「中島菜」は漬物にするとそのうま味が増し、周辺の地域の家庭ではなくてはならないものでした。多賀さんのお母さんも「中島菜」を栽培し、家族の食卓にあがっており、多賀さんは80年近く「中島菜」を食べていることとなります。「中島菜」は中島町以外で栽培すると本来の味、形状が保たれないという言われもありました。そして、中島町を中心に能登地域で栽培されてきた伝統野菜であり、特産品という意味では広く栽培はされていませんでした。

多賀さんは若いころから自分の土地を持ち、作物を栽培することが夢でした。しかし、実家が農家ではなかったため、まずはサラリーマンになり、航海士など様々な職業を経験した後、鉄道会社のバスの運転手にもなりました。しかし、多賀さんの両親が住んでいた地域は山間で農地はおいそれと手に入りませんでした。そこで、30代の時、農地が手に入りやすい地域に土地を購入し、40代でこの場所に自宅を構えました。この土地は多賀さんの言葉では「自動車が通れる道がある場所」です。多賀さんは30代の時、近隣60軒の内、ただ一人車を購入しましたが、お母さんから叱られるので自宅から離れた場所に車を隠したそうです。

多賀さんは鉄道会社のバス運転手を続けながら、農地を徐々に購入していきます。最初は畑を10a購入し、その後さらに水田を60a購入しました。山林も購入し、自分で杉を4500本、アテを植えました。アテは能登ヒバと呼ばれる石川県の県木です。植樹した杉とアテはそれぞれ一抱

えもある太さに育ち、現在は 200 本程度残っています。多賀さんの農地購入はさらに続き、15 年前には七尾西湾に面した干拓地 30a を購入し、野菜の栽培を始めました。今回訪問したハウスはこの干拓地に立っています。この場所の番地は「中島町中島・拓」で、まさに干拓地の住所です。



干拓前のコンクリート堤防と干拓地に立つハウス
(多賀さんのハウスではありません)

そして本格的に農業に

鉄道会社のバス運転手を 60 歳まで続けた後、更に 10 年間、月・水・金の曜日に地域のバスの運転手を続けながら空いた時間で「中島菜」を含め色々な野菜の栽培を行ってきました。そして 70 歳から本格的に農家として活動を開始しました。「中島菜」は秋に播種し、春先に収穫しますが、春先から秋にかけてはトマト、なすを始めとして、能登の伝統野菜である小菊かぼちゃ、金糸うり、能登白ねぎ等の栽培をしています。ハウスの中では「中島菜」の次に栽培するねぎが育苗されていました。

若い頃からの夢を一步、一步進めてきた多賀さんは元気一杯、JA 能登わかばの「かぼちゃ部会」の部会長を務め、更に「中島菜」栽培農家の利益となるよう、仲間を募り「なかじま菜部会」の立ち上げに参画し、現在は部会長として活動し 3 年になります。「なかじま菜部会」は部会員が 57 名で、「中島菜」栽培面積の合計は 5.7ha。会員の平均栽培面積は 10a ですが、多賀さんは 30a を栽培しています。また、部会として積極的に各地に視察旅行を行い、「中島菜」の栽培、加工、流通に参考になる事柄を取り入れています。



中島菜とは？

そもそも、「中島菜」とはどんな野菜でしょう。何故能登の伝統野菜として有名になったので

しょうか。すでに述べたように、「中島菜」は春先に収穫できる生鮮野菜として、能登半島中部の旧中島町中島を中心に地域の伝統野菜として栽培されてきましたが、その栽培地域は限定されていました。時代が昭和から平成に変わるところから、食の均一化が問題視されるようになり、地産地消が推奨されるようになりました。この流れの中で、伝統野菜の見直しが行われ、数多くの伝統野菜がある石川県でも伝統野菜の特色を明らかにし、機能性表示食品制度に基づく機能性食品を開発する活動が行われてきました。平成7年ごろ、石川県立大学や石川県農林総合研究センターでは東北大学での「からし菜には高血圧を予防する物資が含まれている」の研究報告に基づいて、からし菜と同じ仲間の「中島菜」に着目し、分析をしたところ、血圧上昇の要因であるアンジオテンシン変換酵素の作用を抑制し、血圧を低く保つ機能があることが判明しました。さらのその程度がからし菜より高く、高血圧防止の機能性食品であることが、判明したのです。



・参照文献: 榎本俊樹、三輪章志 石川県の農産物の成分評価と機能性食品と開発 Vol.50 No.12 (2015)

マスコミでブレイク

一地域で限定的に栽培されていた「中島菜」が高血圧防止の高い機能を発揮することを示した研究成果を受けて、旧中島町役場では「中島菜」の産地化に乗り出しました。この企画は自治体の合併後、七尾市に移管され、さらにJA能登わかばに受け継がれていきました。しかし、栽培面積を増やし、「中島菜」の機能性をアピールしても消費者にはなかなか伝わらず、産地化は徐々に弱体化し、多賀さんを含め関係者の意気は上がりませんでした。ところが、平成15年に、「みのもんたさん」のテレビ番組で高血圧防止の機能性食品であることを紹介されたところ、一気にブレイクし、たちまちのうちに県内でも有数の伝統野菜として知られるようになりました。「中島菜」はそのまま食べると独特なほろ苦さと辛味があり、なんといっても漬物にするのが美味しいのですが、酒粕を加えた味噌汁としても美味しく、今では「中島菜」を入れたうどん、パスタ、プリン、ケーキ、こんにゃくもあり、道路脇のお店ではせんべいも販売していました。



味を確かめる山本さん



中島菜の栽培

「中島菜」の栽培はハウスでも栽培されますが、基本的には露地栽培です。9月から10月にかけて播種し、その後は能登の厳しい冬を雪の下で生育し、雪が融ける2月から3月に収穫されます。今年は暖かい日が続いたので、雪が降る中、黄色い「菜の花」を咲かせていました。ハウス栽培では9月に播種し11月に収穫、11月に苗を定植し2月に収穫しますが、これは露地栽培からの出荷がない時期を狙ったものです。播種は直播ですが、種子が小さいので普通に播種すると種子が播けたのか、否かが判別できません。そこで、10cm間隔で種子を付着させたテープを使用します。このテープは2a当たり500m使用しますので、播種数は10a当たり25000個となります。発芽率が安定しているため、10a当たりの株数もほぼ播種数と同様になります。栽培期間が秋から春先ですので、害虫や病害の発生がほとんどなく、農薬もほとんど散布しません。一方、「中島菜」は他のあぶらな科の作物と自然交配しやすく、放置すると品質が安定せず、「中島菜」のブランドが維持できません。そこで、採種用の「中島菜」は中島町中島の1軒の農家が厳重な管理下で栽培し、JA能登わかばが集中管理して農家に供給しています。このため、「中島菜」栽培面積は拡がりつつありますが、依然として栽培面積の8割は旧中島町に存在しています。



植樹祭にて

2015年11月に石川県で皇太子が臨席された植樹祭が行われ、これに続いた懇親会で多賀さんはグループを代表して皇太子からの質問に答えることになりました。皇太子との会話に許された時間はたった30秒です。皇太子から「今後はどうのような目標を持っておられますか」と問われた多賀さんは緊張のあまり頭の中が真っ白になり、自分が何を話しているのかが判らなくなりましたが、「中島菜の知名度を上げていきたい」と言ったことだけは覚えているそうです。多賀さんの今後の目標は「中島菜を野沢菜に負けないような全国区にすること」で、「中島菜」に対する熱い情熱を見せておられました。



ハウスで出荷を待つ「中島菜」

今回の訪問はJA能登わかばのご紹介で実現しました。また、JA能登わかばの山本謙吾さん、室木大輔さんには寒い中インタビューに同席いただき、アドバイスを頂きました。感謝いたします。

(山脇・木下)



非結球あぶらな科葉菜類の 炭疽病・白斑病に



ベンレート® 水和剤

[目次へ戻る](#)

新肥料紹介

米作りを変える。「楽一」が変える。「楽一28N」販売のお知らせ。

楽一[®]28N

らくいち／楽一／RAKUICHIは住友化学(株)の登録商標



1. 「楽一28N」の販売開始

今回、「楽一」シリーズ7番目の銘柄として、「楽一28N」(15kg袋)の肥料登録・農薬登録を2016年1月18日付で取得し、2月12日に販売を開始いたしました。

2. 「楽一」とは

「楽一」は倒伏し易い良食味米品種向けに開発した倒伏軽減剤(農薬有効成分「ユニコナゾールP(一般名)」)入り基肥一発肥料です。

倒伏し易い良食味米品種の栽培では、一般に倒伏させないように稈(節と節が中空になっているイネ科の茎)が伸びる幼穂形成期の施肥は避けています。しかし、多収を目指す場合、この時期は肥効を高めた方が良く、倒伏しにくい短稈品種ではこの時期に施肥しています。

「楽一」は倒伏軽減剤を入れることで、幼穂形成期の肥効を高めながら稈の伸びを抑えて倒伏を軽減し、安定した作柄と品質向上を目指した基肥一発肥料です。2005年10月に「楽一21」等の販売を開始し、地域、地力、土壌条件に応じて対応できるよう、今までに6銘柄をそろえてきました。その中で、主として東北のあきたこまち等に推奨する銘柄は「楽一27」のみでした。



3. 「楽一28N」の特長

「楽一28N」の主な肥料保証成分量、農薬有効成分量、使用方法などを今までの6銘柄と共に表に記しました。「楽一28N」は「楽一27」の肥効パターンとほぼ同じにした初めての銘柄です。そのため、「楽一28N」を推奨する地域、品種は「楽一27」と同じです。ただし、窒素保証成分量を1%高め、農薬有効成分量を0.001%低くしていますので、「楽一27」では窒素量不足や肥効と薬効のバランスが悪かった場合でも、お勧めできる新銘柄となりました。

「楽一」シリーズは肥料保証成分量、肥効パターン、農薬有効成分量の異なる7銘柄をそろえ、製品ラインナップを一層充実させることができました。「楽一」の基肥一発施用で栽培の難しいコシヒカリ、あきたこまち、ひとめぼれなど倒伏し易い良食味米品種を楽に栽培できるよう提案していきたいと思っております。今後ともよろしくお願いたします。

表.「楽一」の銘柄と使用方法

商品名	成分 (%)		包装 (kg/袋)	使用方法					代表的な対象地域	代表的な対象品種	農林水産省登録番号		
	N-P ₂ O ₅ -K ₂ O	ウレコソールP		作物名	使用時期	使用量 (kg/10a)	窒素量 (kg/10a) ^{※1}	使用方法			回数	肥料	農業
楽一18	18-12-12	0.0040	15	水稲	耕起～代かき時	22.5～30	4.1～5.4	全面施用 土壌混和	1回	北陸、関東平野部、西南暖地	コシヒカリ等	生第90142号	第22450号
					田植え時	15～30	2.7～5.4	側条施用					
楽一20S	20-11-11	0.0020			耕起～代かき時	30～40	6.0～8.0	全面施用 土壌混和		砂地土壌地域	コシヒカリ等	生第86572号	第21560号
					田植え時			側条施用					
楽一20W	20-12-12	0.0030			耕起～代かき時	22.5～30	4.5～6.0	全面施用 土壌混和		北陸、関東平野部、西南暖地	コシヒカリ等	生第90143号	第22451号
					田植え時			側条施用					
楽一21	21-11-10	0.0040			耕起～代かき時	22.5～30	4.7～6.3	全面施用 土壌混和		北陸、関東平野部、西南暖地	コシヒカリ等	生第86573号	第21557号
					は種時 ^{※2}			側条施用					
					田植え時	15～30	3.2～6.3						
楽一25	25-10-8	0.0040			耕起～代かき時	22.5～30	5.6～7.5	全面施用 土壌混和		東北、関東山間部、西南暖地山間部	コシヒカリ等	生第86574号	第21558号
					田植え時	15～30	3.8～7.5	側条施用					
楽一27	27-10-7	0.0040			耕起～代かき時	22.5～30	6.1～8.1	全面施用 土壌混和		東北、3～4月上中旬田植 西南暖地	あきたこまち、ひとめぼれ、コシヒカリ等	生第86575号	第21559号
					田植え時	15～30	4.1～8.1	側条施用					
					は種時 ^{※2}								
楽一28N	28-10-7	0.0030			耕起～代かき時			全面施用 土壌混和		東北、3～4月上中旬田植 西南暖地	あきたこまち、ひとめぼれ、コシヒカリ等	生第101691号	第23762号
			田植え時	20～40	5.6～11.2	側条施用							
			は種時 ^{※2}										

※1: 小敷第2位を四捨五入。使用量は農業としての適用範囲内で、慣行栽培における一作合計の施肥窒素量を参考に決めてください。

※2: 水稲直播栽培における本田は種時を意味する。



「楽一」について、詳細はこちらをクリック！

(柴田)

[目次へ戻る](#)

昨年11月18日・19日に東京で開催されました「第3回農業普及活動高度化全国研究大会」で発表された資料の中から、一部をご紹介します。(掲載資料は発表されたものに準じます)

第3回農業普及活動高度化全国研究大会資料

課題名 長期に発展し続けるアスパラガス産地の育成
～若い力こそが野菜産地の未来を拓く～
所属・氏名 福岡県筑後農林事務所南筑後普及指導センター 善明 嵩英

<活動事例の要旨>

福岡県南筑後地域では平成4年からアスパラガス導入が始まり、産地規模が徐々に拡大した。しかし、生産者の高齢化が進み、平成18年以降生産者数・面積は横ばいとなった。また、作付けから年数が経過したほ場では収量の低下が見られるようになった。このため、普及指導センターは長期に発展し続けるアスパラガス産地の育成を目指して、①若い新規生産者の確保・育成、②個別生産者の規模拡大、③長期安定生産技術の確立による経営安定の3つの推進方向を掲げ、関係機関と連携して次の活動を開始した。

- ① 若い新規生産者の確保・育成のため、「新規就農支援サポートチーム」を立ち上げ、定期就農相談会の開催、「トレーナー制度」の創設、技術習得のための基礎講座の開催等を行った。
- ② 個別生産者の規模拡大を推進するため、雇用型研修会を開催するとともに、規模拡大希望者に対する個別コンサルテーションを実施し、改善提案を行った。
- ③ 長期安定生産技術の確立による経営安定のため、高収量者の技術の見える化や改植・補植技術の実証等に取組んだ。

これらの活動により、平成22年から平成26年の5年間で生産者は41名増加し、面積は32.6haと活動開始前の23haから1.4倍に増加した。また、40歳代以下の生産者が、活動開始前の2倍の43戸となるなど産地構造の改革が進み、南筑後地域のアスパラガスは長期に発展していく産地となった。

1 普及活動の課題・目標

南筑後普及指導センター管内は、昭和40年代から続く県内でも有数のイチゴ、ナスの産地である。一方、アスパラガスの導入は、水田転作の補完品目として平成4年から始まった。アスパラガスはイチゴやナスと比較し、少ない初期投資で栽培を開始することができ、また、軽量作物であることから、普及指導センターは当初、高齢者や女性を中心に導入を推進した。その結果、生産者が増加し、管内の3JAに生産部会が発足した。更に3JAとも出荷調製施設を整備したことで産地が拡大した。

しかし、高齢者や女性向けに推進を図ったことで、生産者の高齢化が進行し、平成18年以降生産者数・面積とも横ばいの状態が続いた。さらに、作付けから年数が経過したほ場では収量の低下が見え始めた。

そこで、普及指導センターは、産地競争力を強化するために「長期に発展し続けるアスパラガス産地」を目指して、①若い新規生産者の確保・育成、②個別生産者の規模拡大、③長期安定生産技術の確立による経営安定の3つの推進方向を掲げ、プロジェクトチームによる重点的な活動を行うこととした。

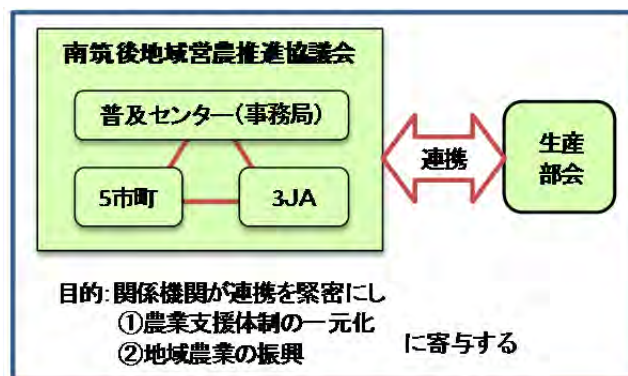


図1 南筑後地域営農推進協議会の体制と目的

2 普及活動の内容

(1) 関係機関と目指すべき方向を共有化

普及指導センターは、アスパラガス産地が抱える課題を解決するため、平成21年に管内の3JA、5市町で構成する「南筑後地域営農推進協議会」(図1)に、長期に発展できるアスパラガス産地の育成方針を提案し、目標達成のための推進方向の共有化を図った。その後、推進方向毎に具体的な活動内容を検討、ロードマップを作成し、生産部会と連携して課題解決に取り組むこととした(表1)。

表1 目標達成のためのロードマップ

目標	推進方向		活動内容及び計画					
	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	
長期に発展し続けるアスパラガス産地の育成	若い新規生産者の確保・育成	新規生産者へ重点推進	経営モデルの作成	JA広報誌での募集 新規作付説明会の開催				
		就農相談窓口の一元化		新規就農サポートチームの構築	定期就農相談会の開催			
		早期技術習得支援			トレーナー制度の設立、運営支援 営農基礎講座の開催			
	個別生産者の規模拡大	規模拡大への誘導	規模拡大への意向把握 → 個別経営コンサルテーション → 経営シミュレーションの作成・提案					
		雇用型経営の推進	雇用型経営研修会の開催					
	収量向上・長期安定生産技術の確立	高収量技術の見える化	かん水、施肥管理の調査、教植化	マニュアルの作成	栽培指導への反映			
		補植技術の実証・普及			実証ほの設置	マニュアルの作成	補植指導会の開催	
		改植技術の実証・普及			実証ほの設置			

(2) 若い新規生産者の確保・育成

ア 経営モデルの作成

普及指導センターは、アスパラガスを若い世代へ推進するため、調査研究で農家の事例調査と経営分析に取り組んだ。この調査を基に、アスパラガスを基幹作物として最低300万円以上の農業所得を確保するため、「経営面積30a、収量3t/10a」の経営モデルを平成22年に作成した。この経営モデルを基に推進資料を作成し、各JAの広報誌に掲載するとともに、栽培希望者に対しJA毎に説明会や相談会を開催した。

なお、アスパラガスは作付け初年目が株養成期間となり、売上がなく所得を得ることができないため、現在若い世代への推進に当たっては、平成24年度に創設された青年就農給付金の活用を促している。

イ 新規就農支援サポートチームの立ち上げ

従来は、新規就農希望者が市町、JA、普及指導センターをそれぞれ訪問し、作物の選定や農地・施設・機械の相談、経営計画作成、資金の申し込み等を行っていた。これでは新規

就農希望者、就農支援側、どちらにとっても非効率であり、スムーズな支援ができなかった。

そこで、普及指導センターは、新規就農者がワンストップで相談することができ、関係機関が役割を分担して効率的に対応できるよう、平成24年に管内の全市町に対し、市町、JA、農業委員会、普及指導センタ

表2 新規就農支援サポートチームの体制と役割分担

		新規就農支援サポートチーム			
		普及センター	市町	JA	生産部会
就農までの課題解決支援	就農相談会の開催	○	◎	○	
	就農計画の作成支援	◎		○	
	農地やハウスの紹介		◎	◎	○
	補助事業や資金の活用		○	◎	
	研修先の紹介	○		◎	○
	技術・経営指導	◎		○	○
就農後の早期技術習得	営農基礎講座	◎		○	
	重点巡回指導	◎		◎	○
	トレーナー制度	○	◎	○	◎

一、生産部会で構成する「新規就農支援サポートチーム」の立上げを提案した（表2）。翌年には全市町毎にサポートチームが設置され、毎月就農相談会を開催するとともに、研修先の紹介や技術習得、資金及び土地の確保など新規就農に必要な支援を関係機関が迅速に対応できるようになった。

ウ 早期技術習得による経営定着

ア) 「トレーナー制度」の創設

管内では平成24年から新規就農者が増加しており、サポートチームメンバーからチームだけでは、支援の継続性や定着に対し、懸念の意見が出されていた。

従来から南筑後地域では、JAの生産部会組織がそれぞれ新規生産者を育てる取組を行っていたが、取組には部会毎に濃淡があった。そこで、普及指導センターは、調査研究で他県の先進事例を調査するとともに、サポートチームのメンバーで支援方法を検討し、柳川地域でモデル的に「トレーナー制度」を立ち上げた。

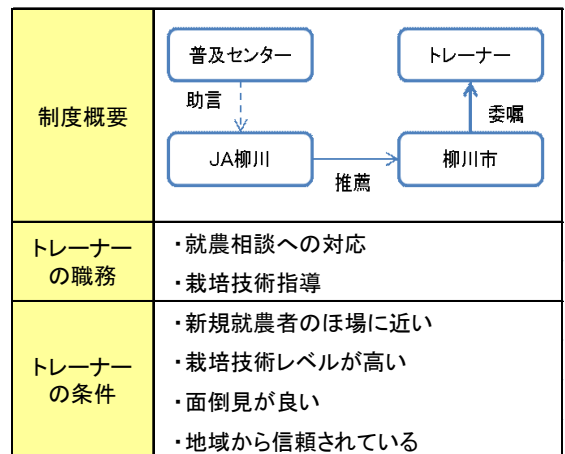
この制度は、トレーナーに委嘱された経験豊富な部会員が密に新規生産者のほ場を訪問しアドバイスを行ったり、栽培面でのスキルアップに加え、周囲の農家や地域との円滑な関係づくりにより、早期の定着支援を目的としたものである（表3）。

この制度において、トレーナーの選定に当たっては、関係機関と生産部会間の目標を共有化することを重点的に取り組んだ。普及指導センターはよりよい制度にするために毎年新規就農者とトレーナーに聞き取り調査を行い、問題点の洗い出しと課題を検討するとともに、検討結果をサポートチームで共有しながら、トレーナーの人選方法など、毎年改善を行っている。調査結果から、普及指導センターは、関係機関や生産部会に対し「新規就農者に日常的に目が届く方がトレーナーになっていただきたい」と強く求めた。

また、トレーナー交流会を開催し、栽培開始前にトレーナーと新規就農者の顔合わせを行うことで、スムーズな人間関係の構築を目指している。

現在、柳川地域のみでの取組となっているが、この成功事例をもとに、今後管内全地域へ広げることとしている。

表3 トレーナー制度の概要



イ) 営農基礎講座

普及指導センターは、収量 3t/10a の早期達成を目指して、平成 23 年からアスパラガス作付け 1 年目の新規生産者を対象に、年 4 回の基礎講座を実施している(写真 1、表 4)。講座では、栽培管理に必要な基礎知識(①生理・生態、②土壌、肥料管理、③病害虫対策、④経営管理)と、時期に応じた管理ポイントの講義をしている。また、新規生産者は他のほ場を視察できる機会が少ないため、ほ場巡回の機会を設け、優良な生育状態を見ることができるようになっている。毎回講座終了後に実施するアンケートで内容の理解度を把握し、個別に生産面や経営面、生活面の問題点を洗い出し、指導上の参考としながら現地指導をきめ細かく実施している。



写真 1 営農基礎講座の様子

表 4 営農基礎講座のカリキュラム

	第1回	第2回	第3回	第4回
講義	アスパラガスの生理・生態	土壌肥料	農薬適正使用 病害虫対策	経営管理
	時期別の栽培管理			
現地	ほ場巡回、優良ほ場の視察			

また、植え付け 2 年目以降の生産者に対しては、栽培年数に応じた指導を行っている。さらに目標収量に達しない生産者に対しては、JA の営農指導員と一緒に重点的に巡回し、整枝・剪定や病害虫防除等、生産者の課題に応じた指導を行っている。

(3) 個別生産者の規模拡大支援

普及指導センターは、出荷終了後に各 JA 部会で行う個別の施肥相談会を活用し、全生産者を対象に、今後の経営に関する意向を面談調査している。この中で、規模拡大を志向し、収量 3t/10a を超えている生産者に対しては、経営コンサルティングを実施している。まず、カウンセリングにより、経営の実態や将来に向けた具体的な経営ビジョンを把握し、次に、資金や補助事業の活用による規模拡大の経営シミュレーションの作成を行い、改善提案を行っている。

また、規模拡大に伴い雇用導入が必要となることを見据え、「雇用型経営研修会」を毎年開催している。研修会では、雇用を導入し大規模に経営している生産者の事例紹介や社会保険労務士等の専門家の講演、並びに参加者全員による討議を行い、生産者の雇用型経営に対する理解促進を図った。

(4) 収量向上技術と長期安定生産技術の確立

普及指導センターは、調査研究を活用して以下の取組を行った。

ア 高収量生産者の管理技術の見える化

収量向上対策として高収量者の栽培管理技術の解析を行った。その結果、高収量者と低収量者の間には、「かん水」及び「施肥管理」に大きな差があることを明らかにし、高収量者の管理を p F 値、EC 値を用いて数値化し、栽培管理技術の高位平準化を図った。

イ 改植・補植技術の確立

アスパラガスの収量は、作付け後 5~10 年にピークを迎え、それ以降徐々に減少する傾向にある。十分な所得が得られるレベル以下に収量が低下したほ場では、全面的な改植により株の更新を行うことが必要となる。また、アスパラガスの収量低下の大きな要因の一つが欠

株の発生である。欠株の程度が軽い場合は、そのか所への補植で対応できるが、アスパラガスは強い連作障害により、通常の改植・補植では連作が困難であることが知られている。

そこで、普及指導センターは同一ほ場での連作が可能となるような改植、補植技術の確立に取り組んだ。

(ア) 改植実証ほの設置

県農林業総合試験場と連携し、平成25年から湛水と太陽熱消毒を組み合わせた改植技術の実証に取り組んだ。実証ほでは、改植処理後の土壌理化学性の改善とアレロパシー作用の軽減を確認でき、作付け1年目の改植株が通常の新植株と遜色無い生育を示すことを実証した。

(イ) 補植技術の確立

平成25～26年に大苗の利用と補植か所の土壌除去を組み合わせた補植技術の確立に取り組み、新植株と遜色のない生育を示すことを確認した。この補植実証結果を基に、「アスパラガス補植マニュアル」(図2)を作成して生産者に配布し、補植技術の普及を図った。



図2 補植マニュアル

3 普及活動の成果

(1) 新規就農者の増加により産地規模が拡大

平成22年～26年の5年間で管内3JAのアスパラガス生産者戸数は41戸増加し、156戸となった。増加した生産者のうち、新規就農者は21戸と半数を占めた。これに伴い、管内の生産面積は平成21年の23.0haから平成26年の32.6haと大きく拡大した(図3)。

また、共同販売金額も平成21年の5億6,100万円から26年には8億9,500万円と1.6倍となった。これは、県全体の共同販売金額10億9,200万円の82%を占め、南筑後地域は福岡県の大アスパラガス産地となった。



図3 面積と生産者数の推移

(2) 産地構造の変化

ア 経営の補完品目から基幹品目へ

部会員の9割以上の農家でアスパラガスが販売金額第1位の品目となっており、アスパラガスが経営の基幹品目として定着した。

また、アスパラガス販売金額1,000万円以上の生産者数は、平成22年の11戸から平成26年の20戸に倍増した。

イ 産地を担う若い生産者の増加

40歳代以下の生産者は、平成21年の20戸から平成26年の43戸と倍増し、全体の3割を40歳代以下が占める若い産地に生まれ変わった。

ウ 規模拡大生産者の増加と若い女性の活躍

平成22年～平成26年の5年間で32戸の生産者が規模拡大を行った。また、女性経営主は、平成21年の13名から平成26年の19名に増加した。その中に、新規就農後本人のみの労働力で15aの小面積からスタート、その後34aに規模拡大して雇用型経営に移行した若い女性経営主E氏がいる。このE氏の事例は、管理作業や収穫作業に雇用を導入しやすいというアスパラガスの経営面でのメリットを、最大限に生かした新規就農者のモデルとして注目されている。

(3) 新規生産者の早期技術習得

平成22年以降に栽培開始した新規生産者37名の半数以上が、栽培開始から3年以内に目標収量3t/10aを達成した。新規生産者の中には栽培3年目から販売金額1,000万円に到達する生産者もあり、早期の技術習得により経営安定化が実現されている。

(4) 収量向上及び長期安定生産技術の普及

かん水、施肥管理を中心に改善を進めた結果、管内のアスパラガス生産者で収量3t/10a以上の農家の割合が21年の30%から26年には41%に増加した。また、これらの技術は県のアスパラガス栽培手引きに採用され、県下の生産者の技術改善に役立っている。

改植技術については、植え付け1年目は良好な結果が得られたが、2年目以降の生育、収量についても調査を継続し、長期的な効果を確認することとしている。

一方、補植技術は補植マニュアルを基に平成27年、管内で新たに5戸の農家が取り組み、概ね良好な結果が得られている。

また、普及指導センターは補植及び改植実証の結果を、平成26年12月に県内の全アスパラガス生産者を対象とした研修会で発表し、県全体への技術の普及を図っている。

4 今後の普及活動に向けて

これまでの活動の結果、アスパラガスはイチゴ、ナスに次ぐ南筑後地域を代表する野菜の基幹品目として定着した。関係機関による新規生産者確保・育成の取組に加え、「農業するならアスパラがよかばい」と生産者自らが自信を持って周囲の就農希望者に勧めることで、さらに、新規生産者が増加するという好循環が生まれている。

アスパラガス産地の発展には株の更新技術の確立が必須である。改植・補植技術の実証により、これらの技術の推進方針を明確にすることができた。基本的には補植により欠株による収量低下を防ぎつつ、長期間にわたり同一ほ場で栽培を行う必要がある若手生産者には改植を推進する。一方、改植作業にはかなりの労力が必要となることから、高齢者や長期間栽培を継続する意思のない生産者に対しては敢えて改植を勧めることはせず、欠株か所へのこまめな補植を推進することとしている。

また、今回実証した改植技術は長期的視点やコスト面でさらなる調査研究が必要であるため、試験研究機関と連携を密にしてより良い技術の確立に努めていきたい。

普及指導センターは、将来に亘ってアスパラガス産地を発展させるため、今後も関係機関と連携し、若い生産者を部会、ひいては地域農業のリーダーとして育成していきたい。

[目次へ戻る](#)

「知りたい！聞きたい！農薬・肥料」のお客さま相談室より

今月のご相談から



1. 新潟県 水稲農家の方

Q：クログワイの防除に苦慮しています。新発売のゼータタイガー1キログラム剤はクログワイに効果が高いとの情報を農業新聞で知りました。散布時期や使用上の注意点があれば教えてください。

A：本剤は、田植え同時散布機による移植時処理、及び、移植直後～移植30日後（ノビエ3葉期）までに使用できる一発処理剤です。1年生雑草のノビエやコナギをはじめ、クログワイなどの多年生雑草にも有効です。お客様が防除に苦慮されているクログワイに対しては、上記の使用時期で安定した効果があることより、「難防除雑草対策一発剤」として公益財団法人 日本植物調節剤研究協会により認定されました。使用に当たっては、土壌の均平化や散布後の3-4日間の湛水管理など、一般的な除草剤使用の水管理を順守してください。

使用用途に合わせ、ジャンボ剤及びフロアブル剤も取り揃えております。



2. 福島県 農家の方

Q：スポルタックスターナSEで種籾消毒を行い、その後の種子浸漬について質問します。消毒後は風乾し、水洗いせずに浸漬すると記載されています。消毒した籾を乾く前に種子浸漬した場合何が問題となりますか？

A：風乾するのは薬剤の効果を確実にするためです。籾に付着した薬剤は乾けば浸種してもほとんど落ちませんが、乾く前だとせっかく付着した薬剤が水に流れ出し、十分な効果が期待できなくなる恐れがあります。

3. 香川県 農家の方

Q：本年「楽一28N」が販売されたことを知りました。今まで使用していた「楽一27」との違いを教えてください。水田の土質は粘土質で、側条施肥で使用しています。

A：「楽一27」は、N:27、P:10、K:7、ウニコナゾール:0.004%です。「楽一28N」は、N:28、P:10、K:7、ウニコナゾール:0.003%です。土壌が粘土質や黒ぼく土ならば「楽一27」が適しています。一方「楽一28N」は砂地などの伸長抑制効果が強く発現する地域にお勧めします。

4. 東京都 直売所販売農家の方

Q：手持ちのダントツ水溶剤にはこまつなの記載がありませんが、使用できるようになったと聞きました。こまつなでの登録内容を教えてください。

A：昨年5月19日に適用作物が拡大されました。希釈濃度2000-4000倍、収穫3日前まで、使用回数3回以内です。

(酒井)

[目次へ戻る](#)

農薬登録情報

4月6日の主な適用拡大の内容です。

詳細はここをクリックしてください。

<http://www.i-nouryoku.com/prod/tekiyou/2016.html>

○殺虫剤

薬剤と変更日時	変更項目	適用作物	変更前	変更後
ベストガード 粒剤 (2016/4/6)	害虫及び 使用方法 追加	レタス	ナメグリハエ	育苗期後半に アブラムシ類（散布） を追加
	総使用 回数		4回以内（育苗培土混和及 び株元処理は合計1回以 内、散布は3回以内）	4回以内（定植時 までの処理は1回 以内、水溶剤の散 布は3回以内）
	使用時期 使用方法 追加	トマト ミニトマト	アブラムシ類、コナジラミ類 （は種時又は鉢上げ時— 育苗培土混和、定植時—植 穴処理土壌混和）	左記に育苗期後 半—散布を追加
	総使用 回数		4回以内（育苗培土混和、 育苗期の株元処理及び定 植時の土壌混和は合計1 回以内、散布は3回以内）	4回以内（定植時 までの処理は1回 以内、水溶剤の散 布は3回以内）
	使用時期 使用方法 追加	なす	アブラムシ類（は種時又は鉢上 げ時—育苗培土混和、前日 —生育期株元処理）	左記に育苗期後 半—散布を追加
	総使用 回数		4回以内（育苗培土混和、 育苗期の株元処理及び定 植時の土壌混和は合計1 回以内、定植後は3回以 内）	4回以内（定植時 までの処理は1回 以内、株元散布及 び水溶剤の散布 は3回以内）
	使用時期 使用方法 追加	きゅうり	コナジラミ類（育苗期—株元処 理、定植時—植穴処理土壌 混和）	左記には種時— 育苗培土混和を 追加
	総使用 回数		4回以内（育苗期の株元処 理及び定植時の土壌混和 は合計1回以内、散布は3 回以内）	4回以内（定植時 までの処理は1回 以内、水溶剤の散 布は3回以内）

ベストガード水溶剤のレタス、トマト、ミニトマト、なす、きゅうりでの総使用回数はベストガード粒剤に準じます。

○殺虫殺菌剤

薬剤と変更日時	変更項目	適用作物	変更前	変更後
箱王子粒剤 (2016/4/6)	作物追加	—	稲（箱育苗）	稲（箱育苗）、稲（直播水 稲、は種時の土中施用）

(山脇)

[目次へ戻る](#)

5月のおすすめ製品



画像をクリックしていただくと、i-農力サイトの詳細ページが表示されます。

水稻農薬

箱王子粒剤



播種前～移植当日まで使用でき
いもち病・初期害虫・ウンカ類・
チョウ目害虫を防除！

箱いり娘粒剤



水稻の主要害虫・いもち病・
紋枯病をまとめて防除可能！

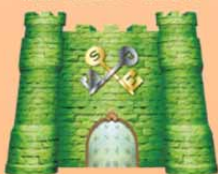
ワンリードSP 箱粒剤



播種前～移植当日まで使用可能
めざせ、豊穡の大地！

スタウトパディート 箱粒剤

新害虫の侵入をきざめ強力な守り



播種前～移植当日まで使用でき
いもち病・初期害虫・チョウ目害虫
を防除！

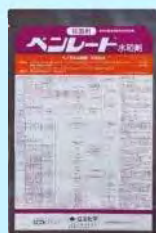
園芸農薬

スクレアフロアブル



なし・もも・豆・葉菜の殺菌剤！
ついに新登場！！

ペンレート水和剤



水稻・果樹・野菜の病害防除！

ダントツ



幅広い殺虫効果&優れた
浸透移行性！残効も長い♪

プレオフロアブル



天敵にやさしく、害虫にキビシイ
新しいタイプの殺虫剤！

除草剤

ゼータタイガー



3成分配合でクログワイに底
力！3製剤勢揃いで新登場！

ゼータハンマー



2成分で高葉齢のノビエにも
高い効果！田植同時処理可

ゼータワン メガゼータ



難防除雑草に優れた効果！
3剤型勢揃い！

ゴエモン



ノビエに卓効の新規成分！
ついにジャンボ登場！

肥料

楽一



倒伏軽減剤入り
水稻用基肥一発肥料

スーパー SRコート



被覆肥料の種類が豊富
溶出 20日～180日まで！

住友 液肥M号



メチオニン・グルタミン酸
添加アミノ酸入り液肥

スミカエース



野菜・果樹・花き・芝生・茶用
硝酸化成抑制材 DCS 含有

新

オリーブづくり奮戦記①

(香川県多度津町で)

はじめに：私は香川県多度津町にUターンを考えています。それは地元で、オリーブ栽培に取り組むためです。前期高齢者になる私がオリーブづくりに挑戦したいと言うと、妻は大反対しました。しかし、そんな心配をよそに、あれよあれよという間にことが進み、2014年3月にオリーブの苗を270本(27a)植え、昨年の秋には50kg近く収穫出来ました。確かに、60歳を過ぎたの農作業は悪戦苦闘の連続ですが、そんな様子を笑って、しばらくお付き合いください。

オリーブ栽培のきっかけは美しい瀬戸内海

オリーブを植えるきっかけは、農家さん訪問記(NO.96)の取材で小豆島在住の柴田さん(東洋オリーブ(株)技術顧問)にお会いしたことです。

柴田さんはオリーブの生産者でもあります。インタビュー後、島の中腹にあるオリーブ園に案内していただきました。そこからの眺めは青い瀬戸の海と島々が一望できる景色(右写真)の大変よいところでした。その海を眺めながら柴田さんは「ここで剪定作業する時が一番幸せです」と、満面の笑みで答えられました。そして、柴田さんのオリーブで絞ったバージンオリーブオイルと新漬け(ピクルス)をお土産にいただきました。それは今まで味わったことのないおいしさで、これもオリーブが大好きになった理由の一つです。柴田さんとの別れ際に、私も同じ香川県の多度津町出身と告げると、多度津もオリーブに取り組んでいることを教えてくれました。



オリーブ園からみた小豆島の海

ぶどうの廃園跡地にオリーブ栽培



ぶどうの廃園(多度津町見立地区)

(写真上)が目立ってきました。そこで県と町は美しい海岸線(景観)を守ろうと、ぶどうの廃園を整地してオリーブ栽培に取り組んでもらうよう積極的に働きかけています。

帰省したときに、地元オリーブの状況を知りたくて、多度津町産業課を訪問しました。オリーブは白方(しらかた)見立(みたち)地区の海岸沿いの山の斜面につくられていることが分かりました。この辺りは瀬戸内地方の中でも特に雨が少なく、日照時間が長いところで、露地のぶどう(デラウェア)が全国で一二を競うほど早く収穫出来る場所です。しかし、地元農家の話しでは、ぶどうの栽培に恵まれ過ぎた分、施設化(ハウス栽培)や新品种の導入が遅れ、ほかの産地に取り残されたそうです。また、今はこの地区のぶどう生産者も高齢化が進み、条件の悪い園地から栽培を放棄し、歯抜けのように廃園

産業課の担当者に、私が国や県から補助を受けてオリーブ栽培するには、どうすればよいかを尋ねてみました。答えは、オリーブ生産組合に加入すればよいとのこと。組合員になれば「オリーブ生産拡大総合支援事業」として、補助が受けられるというのです。例えば、ぶどうの廃園を重機で整地するのにかかる費用、苗木代、支柱代、肥料および農薬代などです。

生産者としてオリーブ栽培をするにはどうすればよいか大体分かりましたが、本当にオリーブに取り組んで大丈夫かどうかは相当迷いました。実家には高齢

の母が一人います。母の面倒だけ看に帰るのは、何か物足りない。折角帰るのであれば地域の人と何か打ち込めるものが欲しいと考えていました。そんなことも含めて、私は思い切ってオリーブをつくることにしました。そして、持ち主から廃園を借りることにしましたが、いざ、借りるとなると地元の顔役さん（廃園の持ち主と私の間に立って交渉してくれる人）が必要です。すぐに私はオリーブ生産部会長の秋山さんが頭に浮かびました。秋山さんとは熊手八幡宮の祭りで顔馴染みになっていたからです。早速、秋山さんに相談したところ、二つ返事で引き受けてくれました。そして、条件のよい園地（廃園）も一緒に探してくれました。



オリーブ生産組合の見本園

地元の祭りで知り合いの輪が広がる



袴装束の筆者

少し話が横道に逸れますが、熊手八幡宮の謂れは神功皇后（西暦 260 年頃）が三韓征伐（日本書紀、古事記）の帰り風波（台風？）が強くなり、一時多度津の港（現在の港よりかなり内陸の青木（おおぎ）地区）に退避の際、村人たちが手厚くもてなしたお礼に簀（はた）と熊手（武器）を賜り、それを祀るために熊手八幡宮が建立されたと多度津町史にあります。その熊手八幡宮の祭りですが、私は父が亡くなる 2 年前（当時）から行事役として参加していました。

戦前ほど盛大ではないのですが、熊手八幡宮の祭りは獅子や太鼓が各地区から集まり年々賑やかになってきました。午前中は境内で神事が執り行われ、午後から神輿 3 台、獅子や太鼓を伴って、

3 キロ先にある須賀の金毘羅宮まで行列になって繰り出します。祭りが終われば、関係者が神社横の社務所で宴を開きます。初めて出席した時ですが、宮司から関係者全員に私を紹介され、古津家が行事役を務める謂れについて説明がありました。私は役員全員に酒を注いで回り、今後ともよろしくと挨拶し、隣に座っていた町長には私がオリーブに取り組んでいることを伝えると、大層喜ばれました。また、宴席で『私の趣味はそば打ちです』と挨拶すると、あなたが地元に戻ってきたらぜひ一番弟子に、と言う人まで現れました。

地元を離れて 40 年以上経ちますが、熊手八幡宮の祭りを通して地元の人たちとの距離が一気に縮まった気がします。その宴席で、前述のオリーブ部会長秋山さんと知り合うことができました。本当に縁とは不思議なものですね。（つづく）

（古津）

[目次へ戻る](#)



簡単

旬レシピ

おいしい♪

料理研究家 大井 直子



はじめまして、おもてなしサロン「Nao's Style」を主宰している大井直子です。旬のお野菜を使った簡単で美味しいレシピをお届けしたいと思います。短い間ですがよろしくお願いします。また美味しそうに見える盛り付け方や季節のテーブルコーディネートも是非参考にして下さいね。皆さまの食卓が更に華やかに、楽しく笑顔いっぱいの「食空間」になりますように♪

春野菜「キャベツ」を使ったレシピ

「春キャベツとソーセージの煮込み」

食材と調味料をお鍋に入れて蓋をして、あとはお任せの簡単で美味しい煮込みレシピです！

(豆知識)キャベツは体にとってもいい効果を持っています。胃を元気にしてくれるビタミンU、お肌をより美しくしてくれるビタミンC、そして骨の形成に役立つビタミンK。たくさん食べてキャベツ美人になりましょう。

【材料】 4~6人分

キャベツ……………1玉
お好みの
ソーセージ…10本くらい

(調味料)

すし酢……………100cc
オリーブオイル…50cc
粒マスタード…大2
さとう……………大1.5~2
チキンコンソメ…2個

イタリアンパセリ 適量
(パセリでも可)

作り方

① 1cm幅にカットしたキャベツを厚手のお鍋(今回使用したお鍋は STAUB27cm オーバルです。蓋つきの大き目のお鍋でも大丈夫です)に入れて(写真左)調味料を投入し、蓋をして中火で10分。

キャベツがしんなりして約半量になったら一度混ぜ合わせ斜め切りにしたソーセージを入れ、再び蓋をして更に3分煮込む(写真中央)。



② みじん切りにしたイタリアンパセリをトッピングして出来上がり(写真右)。

酸味の苦手な方はさとうの量で調整して下さいね。

完成



出来上がったお鍋をテーブルの中央に置いて、みんなで取り分けたり(写真左)一人分ずつココット皿に盛り付けて(写真右)お食事をお楽しみ下さい。

★プロフィール★

大井 直子さん



福岡在住。大手総合商社退社後、2009年からサロンを主宰し、料理やテーブルコーディネートのレッスンを定期的に開催している、人気料理研究家。

- ◆CAJ 認定生活空間コーディネーター
- ◆豆腐マイスター養成講座認定講師
- ◆食品衛生責任者

Nao's Style(ブログ)

<http://ameblo.jp/naonao-mm/>

[目次へ戻る](#)

お知らせ**お客様相談室お休みします**

4月29日～5月8日まで、お客様相談室業務をお休みさせていただきます。期間中は留守番電話となり、5月9日(月)以降順次回答いたします。お急ぎの方にはご迷惑をおかけしますが、何卒ご了承ください。なお、中毒に関する緊急のお問い合わせは下記へお願いいたします。

公益財団法人 日本中毒情報センター

中毒110番	一般向け 問い合わせ料無料	医療機関専用有料電話 (一律 2,000 円)
大阪 (365 日、24 時間対応)	072-727-2499	072-726-9923
つくば (365 日、9～21 時)	029-852-9999	029-851-9999

訪問農家さん募集!

「農家さん訪問記」の取材にご協力いただける農家さんを募集します!

必要事項を明記のうえ、お客様相談室までご連絡ください。

農家さん(i-農力会員。他薦の場合は、推薦者が会員)であれば結構です。

たくさんのご応募、お待ちしております!!



[詳細はこちら](#)

**読者プレゼント実施中!**

「i-農力だより」をご愛読いただいている会員様を対象に、「読者プレゼント」を実施しています!

毎月「農家さん訪問記」で訪れた地方の特産品(お菓子や加工品)を抽選で1名の方にプレゼントします。

たくさんのご応募お待ちしております!

★応募方法★

今月号の「i-農力だより」で気になった記事を1つお選びいただき、ご意見・ご感想をお寄せください。

応募締切: **5月15日(日)**

[詳細はこちら](#)



[目次へ戻る](#)

マーケティング部
木村の

気ままに鉄道 SWIM BIKE RUN バーチャルトライアスロンの旅

Vol.31

趣味のトライアスロンの練習距離を手持ち距離として全国の鉄道を気ままに旅するこの企画。今回は北海道釧路市音別町尺別駅から北海道斜里郡清里町水元町清里町駅まで進みました。

先月紹介した楽天スーパーセールで皆さんお買いものをされましたか？木村は念願の NEWTON のランニングシューズ等を買いましたっ！今までのシューズと違い、めっちゃスネが疲れるので驚きです。疲れる＝鍛えられている、ですので大満足です。

リアルな出張では、北海道とは完全に逆方向の鹿児島県の離島「徳之島」を訪問しました。ここは徳之島トライアスロンが開催されるところで、役場に鉄人 28 号さんがいらっしゃいましたので、上司承認を得たうえで仕事を忘れ記念撮影をさせていただきました。この島は闘牛も盛んで立派な闘牛場があります。ここでもお決まりの顔出し撮影スポットがございましたので、上司に撮影を依頼しパシャリ。。。安心してください！仕事もちゃんとしてますよっ！



役場で仕事を忘れて
鉄人 28 号さんと記念撮影する木村

4 月になり新年度が始まりました。木村にとっては単身赴任 5 年目のスタートになります。春は出会いと別れの季節ですね！このトライアスロンの記事も気づけば vol.31 を迎え約 2 年半の連載となりました。思い返せば東京本社最寄駅から旅を開始し、関東地域をウロウロした後、山梨、長野方面へと進み、新潟から山口まで日本海沿岸を突き進みました。その後、九州一周を果たし、瀬戸内海沿岸を進んだ後、四国に立ち寄り、和歌山・三重・岐阜を通過して再び日本海沿岸を山形、秋田、青森まで疾走しました。北海道に入ってから、その広さに驚愕しながらも室蘭、帯広と太平洋沿岸を進み、現在地の斜里郡清里町駅まで進んできました。3 月の練習距離はスイム 3.0km、バイク 10km、ラン 3km となり手持ち距離は 102km で、今回の終着駅は**西北見駅**となりました。これらはすべてバーチャルな旅ではありますが、行く先々の情報をインターネットで調査し、レポートしてきた木村にとっては本当に行ったかのような思い出となっています。まだ立ち寄っていない地域もたくさんあり、中途半端感は否めませんが、ほぼほぼ南から北まで縦走できましたので、新年度が始まる 4 月をもって本連載を最終回とさせていただきます。文章がメインの記事で読みづらい点もあったかとは思いますが、読者の皆様には、この場を借りてお礼申し上げます。長い間「木村のバーチャルトライアスロンの旅」をご愛読いただきありがとうございました！！

※ 手持ち距離 = (SWIM 練習距離 × 26.6) + (BIKE 練習距離 × 1) + (RUN 練習距離 × 4)



←桜の下で出勤前の
朝ランをする木村



闘牛場で仕事そっちのけで牛さんと記念撮影する木村

～ 編集後記 ～



今回の農家さん訪問は能登半島の七尾市でした。私は約 50 年前の夏に高校の生物クラブの仲間と七尾の海に面した穴水に行ったことがあります。クラブ活動の一環として海の生物の観察を名目にしていましたが、実際は海岸での遊びが主体の 2 泊 3 日の旅でした。七尾の海は美しく、緑に染まった奇岩が連なり、水は信じがたいほど澄みきっており、水中の岩の間にユラリと漂う海草や、ウミウシの美しい色彩を水中メガネでみていると、いつまでも飽きることがありませんでした。私が住んでいた大阪の海と比べると天国と地獄のような違いです。今回の訪問ではこのような七尾ではなく、3 月とはいえ、未だ春の景色はなく、厳しい冬の名残に覆われていました。しかし、厳しい冬に耐え、寒気の中で花を咲かす野菜を昔から大事にしてきた土地柄に冬の厳しさを跳ねかえす暖かさ感じ、また違った目で能登の風景を見ることができた、農家さん訪問でした。

(山脇)

早いもので今回で 4 回目の農家さん訪問となりましたが、毎回、皆さんの野菜・果物に対する熱い愛情、将来を見据えた地道な準備、新規取り組みに対する周囲の喧騒をものともしない勇気・信念に強い感動を覚えます。

私も少しは見習って、今年こそはベランダ菜園で失敗続きの〇〇を収穫するぞ、と意気込んでいる今日この頃です。

(まあ目標は低いですが。。出来そうなことからコツコツと。)

(品質保証室 木下)



次月号の - 農力だよりは
5月31日(火)の発行予定です。
どうぞお楽しみに！！



[目次へ戻る](#)